



あいかわだより 議会だより

第 135 号

責任者 議会議長 鈴木一之
年4回発行・本号18ページ



「中津川とコスモス」
撮影者：吉田法人さん（中津在住）

八菅橋上流左岸の花壇の中に咲いているコスモス（H24.10.5撮影）

※町議会では議会だよりの表紙写真を募集しています。応募要領は17ページをご覧ください。

平成24年11月15日 <9月第3回定例会・10月第2回臨時会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

陳情を採択 神奈川県へ意見書を提出

P4

平成23年度決算を認定

P3

第2回臨時会開催 新副議長を選出

P2



(敬称略)

副議長に 小倉英嗣氏

平成24年第2回愛川町議会臨時会において、申し合わせ任期の満了に伴う副議長の選挙が行われ、小倉英嗣議員が当選されました。

議会役職等人事報告

副議長の改選により各委員会の委員構成が次のとおり一部変更となりました。 ※網掛部分の委員が変更
また、会派構成についても、次のとおり変更が

ありました。
◎愛政クラブ

8月28日付で、無所属の「佐藤茂」議員が愛政クラブへ所属し、9月26日付で会派代表が「小倉英嗣」議員から「熊坂弘久」議員に変更となりました。

議会運営委員会 (委員定数8人 ◎委員長 ○副委員長)			
◎ 井出 一己	○ 山中 正樹	○ 鳥羽 清	○ 熊坂 弘久
○ 馬場 司	○ 渡辺 基	○ 井上 博明	○ 木下眞樹子
○ 井上 博明	○ 井出 一己	○ 熊坂 崇徳	○ 馬場 司
○ 熊坂 弘久	○ 井上 博明	○ 山中 正樹	○ 馬場 司
○ 鈴木 一之	○ 鳥羽 清	○ 渡辺 基	○ 小林 敬子
○ 玉利 優	○ 佐藤 りえ	○ 木下眞樹子	○ 佐藤 茂
○ 小倉 英嗣	○ 小島総一郎		

総務建設常任委員会 (委員定数8人 ◎委員長 ○副委員長)			
◎ 熊坂 弘久	○ 井上 博明	○ 熊坂 崇徳	○ 井出 一己
○ 山中 正樹	○ 馬場 司	○ 鈴木 一之	○ 鳥羽 清

教育民生常任委員会 (委員定数8人 ◎委員長 ○副委員長)			
◎ 渡辺 基	○ 小林 敬子	○ 玉利 優	○ 佐藤 りえ
○ 木下眞樹子	○ 佐藤 茂	○ 小倉 英嗣	○ 小島総一郎



平成24年 第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
9	3	月	本 会 議	教育委員会委員の任命の採決、町長提出議案の説明
	4	火	本 会 議	一般質問 (6人)
	5	水	本 会 議	一般質問 (7人)
	10	月	本 会 議	補正予算、事件関係議案の総括質疑・討論・採決
	12	水	本 会 議	23年度決算等の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定
	14	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	18	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	20	木	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	21	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	26	水	本 会 議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決、議員提出議案の質疑・討論・採決

平成24年 第2回臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
10	9	火	本 会 議	副議長の選挙

改正条例

◎愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定 (賛成全員)

(賛成全員)

近年の電気自動車の普及により、電気自動車用急速充電設備のさらなる需要が見込まれることから、当該設備が新たに対象火気設備等として省令に追加されたことに伴い条例に所要の改正を行ったものです。

施行期日は12月1日

補正予算

◎平成24年度一般会計補正予算(第1号) (賛成全員)

改正条例

◎愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定 (賛成全員)

(賛成全員)

今回の補正は、歳入歳出のそれぞれに4千183万円を追加し、歳入歳出予算の総額を120億4千983万円としたものです。主な内容は、道路区画線等設置工事費、乳幼児等予防接種事業費、子宮頸がん等ワクチン接種事業費、住宅用太陽光発電設備設置事業補助金、私立幼稚園就園奨励補助事業費等の経費です。

訴えの提起

◎訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求) (賛成全員)

工期は平成25年3月29日まで

工事請負契約の締結

◎平成24年度幣山下平線第2期分道路改良工事 (賛成全員)

請負契約金額 7千302万7千500円

工事場所 角田地内

請負契約の相手方 佐藤建設株式会社

工期は平成25年3月29日まで



◎人権擁護委員の推薦に係る意見
 人権擁護委員2名の任期が12月31日をもって満了となることから、引き続き次の方を適任と認めました。

愛川町中津在住 梅澤哲夫氏
 愛川町三増在住 小林利彦氏

◎教育委員会委員の任命について
 (賛成多数)
 教育委員会委員の足立原威氏の任期が9月30日をもって満了となることから、新たに次の方を任命することに同意しました。

愛川町半原在住 井上正博氏

人事議案

平成23年度 各会計決算額

会 計	歳 入	歳 出
一般会計	125億6,601万9千円	120億278万3千円
特別会計	国 保	55億9,831万6千円
	後期高齢者	2億6,717万3千円
	介護保険	18億7,796万6千円
	下 水 道	12億4,577万2千円
企業会計	水 道	7億5,000万円
合 計	222億3,776万円	217億4,201万円

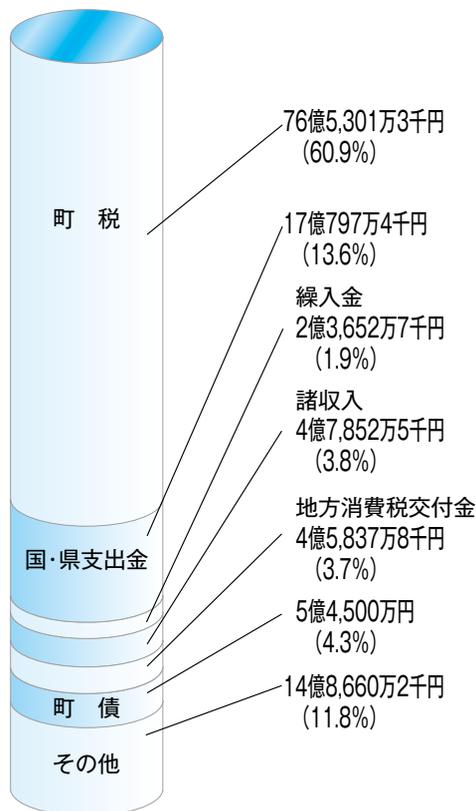
◎一般会計歳入歳出決算の認定
 (賛成全員)
 ◎国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
 ◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
 (以上賛成13人、反対2人)
 ◎介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
 ◎下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
 ◎水道事業会計決算の認定

※議長は除く
 (以上賛成全員)
 ※議長は除く

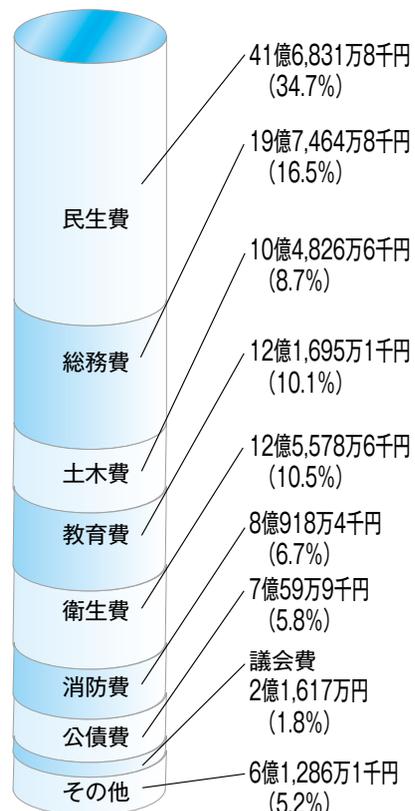
議会は、一般会計年度の歳入歳出決算について、その内容を審議しなければなりません。これは、予算が当該年度の歳入歳出についての予定的見積りであり、必ずしも当初の予測そのままに運営されるものではないため、具体的な事業内容や執行の実績・結果について、執行機関が議会の審議に付するもので、議会の監視により町の財政運営の適正化を図っているものです。

平成23年度各会計決算を認定

一般会計歳入構成比



一般会計歳出目的別構成比



結論の出た請願・陳情

(敬称略)

件名	結論	陳情者
陳情第2号 神奈川県最低賃金改定等についての陳情	机上配付	厚木市旭町1-9-18志澤うりんぼうビル3階 日本労働組合総連合会神奈川県連合会 厚木愛甲地域連合 議長 加藤良秋
陳情第3号 県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情	採 択 (賛成全員)	横浜市中区扇町3-8-7 三平ビル201 神奈川県学童保育連絡協議会 会長 小神長次
陳情第4号 平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	趣旨了承 (賛成全員)	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人神奈川県腎友会 会長 岸上武志
陳情第5号 平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	趣旨了承 (賛成全員)	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人神奈川県腎友会 会長 岸上武志

※陳情第4号、第5号については、委員長報告に対する賛否

請願・陳情のゆくえ

神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金が国庫補助基準を下回らないように財政措置を求める意見書

平成20年7月に神奈川県議会において「神奈川県放課後子どもプラン推進事業の県費補助に対する請願」が採択され、神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱に定める補助基準額は、国庫補助基準と同額となりました。

しかしながら、県財政の厳しさを理由として、市町村に交付される補助金の額は、平成23年度実績で県補助金交付要綱に定める基準額の8割を下回る額となっています。

この不足分は、市町村が補てん、又は、保護者負担を増額するか、運営費を削減するほかありません。

現在の状況は、県補助金交付要綱第1条に規定する「放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する」という趣旨を十分に果たしているものとは言えず、働きながら子育てをする保護者にとって大変重要な学童保育事業を後退させることにつながるものです。

さらに、運営費を削減した場合には、指導員の待遇を劣悪にするとともに、保育内容の質を低下させることにもつながります。

よって、県におかれては、次の事項について実現されるよう強く要望します。

- 1 国庫補助基準を下回らないよう放課後子どもプラン推進事業費補助金の財政措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月26日

神奈川県知事 黒岩祐治 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
議長 鈴木一之

議員提出議案可決

神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金が国庫補助基準を下回らないように財政措置を求める意見書

◎神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金が国庫補助基準を下回らないように財政措置を求める意見書
(賛成全員)

本陳情は、9月3日(月)の本会議初日に所管の教育民生常任委員会へ付託され、9月21日(金)開催の当該常任委員会で慎重に審査した結果、願意妥当と判断し、意見書を提出する旨の結論が出されました。

9月26日(水)の議会最終日に議員提出議案として提案し、審議の結果全会一致で原案のとおり可決したので、上記のとおり意見書を関係行政機関へ送付しました。

会派 議決一覧表(平成24年第3回定例会) ※議長は表決には加わりません。

各会派賛否 ○…賛成 ●…反対

※陳情は委員長報告に対する賛否です。

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 熊坂弘久議員 鳥羽議員 小倉議員 佐藤茂議員	あいかわ (3人) 馬場議員 鈴木議員 渡辺議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	公明 (2人) 井出議員 佐藤りえ議員	支えあう街 みんなの会 (2人) 木下議員 熊坂崇徳議員	玉利議員	議決結果
議員提出 第1号	神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金が国庫補助基準を下回らないように財政措置を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第32号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○●	○	○	○	同意
町長提出 第33号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第34号	平成23年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	○	○	○	認定
町長提出 第35号	平成23年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	○	○	○	認定
町長提出 第36号	平成23年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第37号	平成23年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第38号	平成23年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第39号	平成23年度愛川町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第40号	平成24年度愛川町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第41号	工事請負契約の締結について(平成24年度幣山下平線第2期分道路改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第42号	訴えの提起について(国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第43号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第44号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第2号	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第3号	県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第4号	平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 第5号	平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承

所管事務調査

平成23年度事業決算現地調査を実施

所管事務調査とは、常

任委員会が自主的にその

所管する事務を取り上げ

積極的に調査を行うこと

ができる権限です。

今回は、平成23年度事

業の決算審査の補完的な

位置付けとして、現地調

査を実施しました。

総務建設常任委員会

【調査日】

8月20日(月)午前9時

【調査箇所及び内容】

① 現業棟・公用車庫棟

② 建設工事(愛甲商工会

館東側)

③ 愛川バスセンター

④ 舗装改修工事(町役場

北側)

⑤ 中津2713号線

⑥ 改良工事(六倉児童館

東側)

⑦ 中津111号線

⑧ 歩道整備工事(内陸工

業団地内)

⑨ 不法投棄監視カメラ

⑩ 更新(八菅山いこいの

森入口)

⑪ 丸山農道

⑫ 改良工事(角田丸山耕

地内)

⑬ 幣山下平線第2期分

⑭ 道路改良工事(角田大

橋下流)

⑮ (仮称)野中児童遊園地

⑯ 整備工事(旧県警グラ

ウンド跡地)

⑰ するすみ排水区

⑱ 雨水幹線整備(開削

工事(半原原白区内)

⑲ (11)野尻排水区

⑳ 雨水幹線整備(改良

工事(半原原白区内)

教育民生常任委員会

【調査日】

8月16日(木)午前9時

【調査箇所及び内容】

① 福祉センター維持管理

経費

② 福祉センター2階老人

③ 作業室アルミ間仕切設

置工事

④ 保育園施設整備事業費

⑤ 高峰保育園屋上防水・

外壁塗装工事

⑥ 交通安全施設整備事業

費

⑦ 半原小学校周辺通学路

カラー舗装工事

⑧ 老人福祉管理経費

⑨ 小規模福祉施設スプリ

ンクラー等整備事業

⑩ 学校施設整備事業費

⑪ 愛川東中学校B棟屋上

⑫ 防水改修工事、各小学

⑬ 校普通教室及び特別教

⑭ 室等扇風機設置事業

⑮ 障害者生活援護事業費

⑯ 障害者グループホーム

⑰ 等設置費補助金

⑱ 学校施設整備事業費

⑲ 菅原小学校外トイレ改

修工事

⑳ 菅原小学校校舎・屋内

㉑ 運動場耐震補強事業費

㉒ 同補強工事



内陸工業団地内歩道整備箇所

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 協働のあり方検討委員会における委員の意見について

答 「協働のあり方検討委員会」では、各委員から本町にふさわしい協働についてご意見を伺い、この意見を基に最終的に「協働のあり方に関する提言書」という形でまとめました。

この提言書では、愛川町らしい協働事業として重点的に取り組むことが望ましいものとして、「中津川流域をテーマとした協働事業」「防災をテーマとした協働事業」「特産品づくりをテーマとした協働事業」「地域福祉の推進をテーマとした協働事業」の4つの協働事業を掲げていますが、これらは委員の総意を反映したものとなっています。また、協働についての理解を深め、協働の文化

を醸成すること、町民活動団体への支援策を充実することなどのほか、町民公益活動団体等から協働事業を提案できる仕組みを構築することが、協働を推進するために必要であるなどのご意見をいただきました。

問 平成23年度のごみ減量化・資源化の評価と課題について

答 ごみ排出量は、近年の環境意識の向上やごみ減量化、資源化などの取り組みなどもあり、年々減少傾向を示しています。具体的に、過去5年間の実績でみると、ごみ排出総量は、平成19年度は1万6千188トンでしたが、平成23年度は1万4千509トンとなり、1千679トン、率にして10・4%の減量化が図られています。

しかしながら、町民1人1日当たりのごみ排出量は、平成22年度の状況

今まで燃えるごみだったプラスチック製容器包装を資源としてリサイクルします!



プラスチック製容器包装とは、中身を使い切ったり、取り出したときに不要になるプラスチック製の「容器」や「包装」です。
※左の識別マーク「プラ」が付いています。

では952グラムとなっており、県内33市町村中22位と県平均の930グラムを上回っている状況です。また、資源化率についても、本町は20・5%となっており、県内33市町村中27位と県平均の24・5%を下回っています。

こうしたことから、まだごみの減量化、資源化への取り組み、町民や事業者の皆様方のご協力が不可欠な状況にあると評価しており、本年10月1日から新たな分別収集体制へ移行し、資源化品の拡大を図るとともに、現在策定作業を進

めている町一般廃棄物処理基本計画において、これまでの適正処理に替えて排出の抑制を主眼とする目標を掲げ、ごみの減量化、資源化への取り組みを更に推進していく必要があると考えています。

教育民生常任委員会

問 魅力ある学校づくり推進事業の成果と課題について

答 魅力ある学校づくり推進事業は、各学校の児童・生徒やその保護者、そこに勤務する教職員、また地域の人々や学校評議員の方々等の思いや願いを汲み取り、特色ある学校として創意工夫を凝らして推進していくものであり、特色ある学校づくりに資する学校裁量予算を措置するものです。

事業の成果ですが、各学校から提出された事業報告書からその一部をご紹介しますと、「学習ポランティア等の人材の有効活用を図った結果、子

どもたちは落ち着いて意欲的に学習や活動に取り組むことができた」「自然体験活動やふれあい活動に取り組み、子どもたちの仲間作りが深められた」「季節ごとに花々で花壇を飾り、子どもたちの情操を培う豊かな教育環境を実現することができた」など、各学校の特色に応じて様々な成果があがっています。

課題については、事業の趣旨に添った予算執行の周知徹底を図ること、会計処理・事務処理の全てを行う教頭の負担感が非常に大きいこと、学校への期待感の増大に伴う十分な予算確保を行うことなどがあげられます。

問 安全・安心まちづくり対策事業の効果と今後の課題について

答 安全・安心まちづくりパトロール事業は、青色パトロール車による、不審車両や不審者の発見児童生徒への声かけや盗難などの犯罪情報に対す

る即座の警戒警備などの業務を実施しています。犯罪件数の推移を平均値と比較しますと、平成12年から平成16年の間に

おいては914件、平成17年から平成23年の間に

おいては494件と、その件数は著しく減少しており、安全・安心まちづくりパトロールの事業効果が現われているものと考えています。

安全・安心のまちづくりには、町民の防犯意識の高揚が重要な課題と考えていますので、今後とも、一人ひとりの住民の心に少しづつでも防犯意識を植え付け、犯罪を減少させることができるよう防犯指導員、警察署とも連携し、地道な運動を重ねていきます。



青パトによる巡回パトロール



一般質問

アンケートを実施 話合いも再度計画

町長 「人・農地プラン」の対象エリアである三増地区は79名、角田地区は172名にアンケートを送付しました。話合いは8月22日、24日に開催しましたが、早い時期に2回目の話合いを計画し、原案作成に努めます。

問 6月議会で「人・農地プラン」策定のためのアンケート調査、話合い、検討会を行うとのことでしたが、その後の取り組みを伺います。

人・農地プラン 策定の取り組み



山中 正樹議員

八菅橋の先は未定 広域道路網は重要

町長 八菅橋から厚木市荻野の412号線に至る新設道路は、広域的なアクセス機能を有する路線ですが、「上飯山中津上依知線道路整備促進協議会」で、広域網という観点から将来交通量を見通したうえで、厚木市と本町で調査・研究していきます。

現時点では、ルート選定等詳細は未定ですが、道路のネットワークは重要と認識しています。他の質問事項なし

問 縦貫道はアクセス道路の整備により一層その機能を発揮します。相模原愛川ICからは、新旧昭和橋から中津商店街に至りますが、八菅橋先の進展が見えませんが、考えを伺います。

縦貫道ICからのアクセス道路の整備



井上 博明議員

公費助成を 前向きに検討

町長 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に係る公費助成については、今後の国の動向や県下自治体における状況なども勘案しながら、前向きに検討していきます。

問 平成23年9月議会にて、高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用について、町独自の公費助成を町長に要請しました。改めて公費助成実施を要請しますが、町長の考えを伺います。

「高齢者肺炎球菌ワクチン」接種費用に助成実施を要請



井上 博明議員

実態把握に努め 指導にあたる

教育長 児童・生徒の生活実態などのアンケートを行うなど、実態把握に努め、教師と児童・生徒

問 平成23年度のいじめ確認件数は、小中学校で12件です。いじめを生まない教育環境、体制、指導及び保護者との連携について伺います。

いじめを生まない教育環境



の好ましい人間関係づくりに努めるなど、いじめ問題の重大性を全教職員が認識し、学校長を中心とした校内協力体制のもと、日々の指導にあたっています。

また、保護者との連携を密に図り、迅速・適切な対応に努めているところであります。

他の質問事項①メガソーラー事業について②雨水対策について



調臨川奈神 考え方と対応

小島 総一郎議員

問 平成25年度予算の編成に向けて、町としてどのような対応を考えているのか伺います。

市町村への負担転嫁 県に強く訴えていく

総務部長 県補助金の削減は、市町村への負担転嫁につながる旨を県に強く訴えていきます。

なお、国県補助金が削減された場合は、当該事業の必要性などを再検証し、住民サービスが低下しないよう対処することが大前提ですので、的確な状況把握に努めます。



中津水源地

「町営水道」 県営事業との今後のあり方

問 本町には町営水道と県営水道があり、同一のサービスが受けられない状況となっています。そこで、県営水道との今後のあり方について伺います。

現状の体制で 安定供給に努める

町長 昭和30年代の内陸工業団地の開発に伴い、周辺地域が県営水道の給

水地域となり現在の状況となっておりますが、県と町それぞれが独自に水需要のバランスを考慮しながら適切な施設管理や施設整備などを推進してきたものであり、町としては、今後とも現状の体制で企業努力を重ね、安全で良質な水の安定供給に努めていきたいと考えています。

他の質問事項なし



問題 教職員の研修体制

渡辺 基議員

問 いじめを苦とした自殺が後を絶ちませんが、絶対に起こしてはなりません。そこで、いじめに関する教職員の研修体制について伺います。

高い関心を持ち 情報交換に努める

教育総務課長 研修会等で、いじめの未然防止、早期発見、早期解決の手立てを促すとともに、いじめのチェックリストやいじめ防止の道徳資料等を提供しました。今後とも高い関心を持ちながら情報交換と連携に努めます。

「住民提案型協働事業」 内容と周知方法

問 来年度から実施する住民提案型協働事業の提案募集を行っているが、その事業内容と周知方法について伺います。

効果的に課題解決 出前講座等で周知

り多様性に富んだサービスを提供するなど、より効果的に課題解決を図ることを目的とした制度であります。

次年度以降の周知方法としては、出前講座等を考えています。

他の質問事項なし

行政推進課長 住民提案

型協働事業は、公共的な課題に対し、町民公益活動団体と町がお互いの特性を活かし、協働して取り組むもので、新しい社会ニーズに対応し、よ



「まち美化アダプト事業」の活動（両向高砂会）

町長 利用団体の中で、今までのように土足入館ではないほうがいいという方が30%いますので、この30%の利用者の方に理解をいたいただくことが、優先ではないかと思っています。

現状維持が30% 利用者の理解が優先

問 厚木市では、最近土足入館とした公民館での雨天時の転倒防止は、足ふきマットで十分対応できているとのことですが、町長の見解を伺います。

「公民館土足入館」 厚木市では実施 本町の考え



小林 敬子議員



中津公民館入口

問 平成19年から操業している事業所から異臭があるとの住民の訴えがあります。これまでも県と町合同で指導しているとのことですが、その後の経過について伺います。

発生要因や防止策 文書で回答求める

町長 異臭に対する問い合わせや苦情への町の対応ですが、まず、担当職員が出向き状況を確認、必要に応じて県の環境保

「堆肥化事業所」 異臭に対する指導経過

全課や環境調整課と連携を図り、関係する法令や条例規則に基づいて、事業者による発生要因と防止策について文書で回答を求め、指導します。さらに、建屋扉の開閉の徹底、製品となった堆肥の建屋内での保管や作業の禁止、施設の維持管理、修繕等、施設責任者の立会いのもと、現場指導や文書指示をしています。

町長 降雪時には路面全体の除雪を徹底するとともに、早めに凍結防止剤を散布するなどして対応しています。今後でも通行の安全確保に努めていきます。

凍結防止剤を散布 安全確保に努める

問 ふれあいの村入口の町道は、国道近くが急坂で、降雪時には路面が凍結するため、大事故につながる危険性があります。そこで、有効な対策を伺います。

「ふれあいの村入口」 降雪時に路面凍結 大事故の危険性



小倉 英嗣議員

「バーベキューごみ」 収集所に不法投棄

問 町内のいたる所でごみが捨てられており、特に河川敷のバーベキューごみが収集所に不法に捨てられています。そこで、防止対策について伺います。



ふれあいの村入口の坂

町長 不法投棄が後を絶たないために、4月から「愛川町みんなで守る環境美化のまち条例」を施行し、罰則規定を設けて取り締まりに力を入れています。

環境美化条例で対応 取り締まりを強化

河川敷近くの収集所は移設の検討もしています。他の質問事項①地球温暖化防止対策について



急斜面の減災対策 災害に強い工法

井出 一己議員

問

斜面の安定を高め、地震、水害に強い工法で、東日本大震災でも実証された「フォレストベンチ工法」の調査研究について伺います。

自然と共生目指し

情報収集に努める

町長 のり面工事には、地質、斜度、面積などを総括し、費用対効果も考慮して工法を決めます。フォレストベンチ工法も承知していますが、自然と共生する地域社会の形成を目指す上で、新工法の情報収集に努めます。

小学校通学路の安全対策

問

5月に文部科学省国土交通省及び警察庁から「通学路における緊急合同総点検」実施の通知がありました。本町でも8月末までに第1回の総点検が行われました。その結果と今後の対応について伺います。

新たな危険箇所なし 対策予定箇所は3件

町長 今回の合同点検では、新たな危険箇所は抽出されませんでした。

教育総務課長 過去には

25件の危険箇所が抽出されています。うち22件は対策済みで、内容別では自治会やボランティアによる立ち番9件、道路管理者による対策8件、警察によるカラー舗装等の対策5件です。残りの対策予定箇所である高峰小田代小、半原小各学区の3件は地元との調整が必要な箇所もあり、十分協議していきます。他の質問事項①災害対応型自動販売機の導入



馬渡橋周辺通学路



いじめの実態 認識と対応

熊坂 弘久議員

問

小中学校等のいじめの実態について、その認識と対応を伺います。

昨年度は12件発生 改善、解決に尽力

教育長 平成23年度では小中学校で12件のいじめがありました。いじめは絶対に許されないことです。学校、家庭、地域が連携し、早期発見と迅速、適切な指導、支援により、ただちに改善、解決するよう各学校を通じて全力を尽くします。



町民相談の対応

問

現状と問題点及びワンストップ対応について伺います。

現状問題点はない ワンストップ困難

町長 各種相談の中で、法律と消費生活相談は、3年間の平均で183件と135件と多くなっています。相談事業については、特に苦情もありません。

で、問題はないと認識しています。

町民相談の町民への周知は「広報あいかわ」や「お茶の間通信」、町ホームページなど多様な手法で周知に努めています。町民相談のワンストップ対応とは、「二箇所一度にあらゆる相談が可能な体制」と認識していますが、多分野で多種多様な内容にわたるため、対応は難しいと考えます。他の質問事項なし

町長 国では、5月に子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンを優先的に定期接種化の対象とする方向性が示され、高齢者肺炎球菌ワクチン等の4ワクチンは順次定期接種化を目指すことされたことから、国の動向や県下自治体の状況を勘案し前向きに検討します。

国の動向を勘案 前向きに検討

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について要望をしてみました。が、進捗状況を伺います。

肺炎球菌ワクチン 高齢者への助成



佐藤 りえ議員

「発達障害」

5歳児健診の導入推進

問 発達障害は早期発見、早期療育の開始が重要で、就学前健診で発見されたのでは遅いといわれています。5歳児健診の導入を推進してほしいが、今後の対応について伺います。

いるほか、専門機関への受診も勧めており、町内の幼稚園、保育園へは臨床心理士が巡回、または派遣され、保育士に対して指導、助言を行っています。

意義は十分に認識 今後の研究課題

町長 町では健診の結果、必要な場合には心理発達相談や教育相談など、事後相談を実施して

5歳児健診の意義は十分に認識しているものの課題も指摘されていることから、今後の研究課題とさせていただきます。他の質問事項①防災教育について②消防バイク導入について



中学校武道教育 柔道の選択理由



玉利 優議員

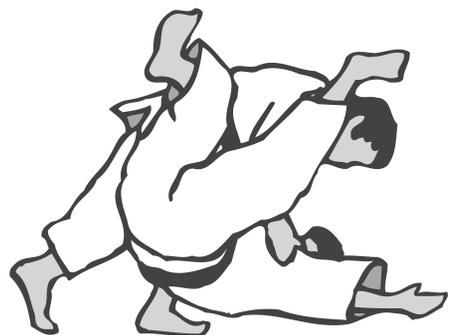
問 愛川は江戸期から現在に至るまで剣道の盛んな場所です。武道の教育に柔道のみを選んだ理由を伺います。

法令等に従い 学校が適切に編成

教育長 教育課程の編成は、教育基本法その他の法令に従い、各学校が適切に編成するものです。

これまでの指導実績や活動場所の広さ、生徒数の関係、準備期間、また用具に係る費用、その収容場所なども検討して決定しました。

医療費と国保税 現状と課題



問 高齢化と医療の高齢化の中で、医療費が急増しています。当然医療費を反映する国保税も町の負担の限度を超えています。が、現状と課題を伺います。

国、県の助成を受けても歳出に見合う財源が確保できず、一般会計から繰入れています。

一方、国保加入者の医療費は増加の一途で、一人当たりの医療費はここ10年で約13万円も増加しています。

財源確保が困難 一般会計から繰入

町長 長引く景気低迷に伴い、歳入の根幹である税収の確保が困難です。本町の一人当たりの国保税額は、県下でも低位で

そうした中、県下では唯一の金融債権の取立てその他で滞納整理に全力を注ぐ一方、生活習慣病の予防などで医療費の抑制に努めています。他の質問事項なし



交通安全対策 狹隘道路に白線

木下 眞樹子議員

問 これまで狹隘道路について質問してきましたが、道路に白線を引き、視覚に訴えたら良いと思うが、これについて伺います。

現地を確認 鋭意努力

町長 外側線の設置により、歩行者の安全確保も図れる効果があることから、今後も歩行者が多い道路で、かつ通過車両も多く、幅員が確保できる箇所を基本として、引き続き現地を確認しながら鋭意努力していきます。

子育ていきいき宣言の成果

問 本町の子どもたちは全国と比較してテレビ、ゲーム、携帯電話の利用時間が長い状況とのことだが、平成21年度に行った「子育ていきいき宣言」の成果について伺います。

い、食事中はテレビを見ないなど、様々なルールを親子で考える取り組み、また、親子で読書を楽しむことを励行する取り組みを行っている学校があります。

問 家庭の実情に応じた取り組みが学校を通して各家庭に広がっていることが大きな成果と捉えています。他の質問事項①町の高齢化②町の学校給食③震災時の避難所での対応

家庭の実情に応じた 様々な取組を実施

見ない、ゲームをしない、食事中はテレビを見ないなど、様々なルールを親子で考える取り組み、また、親子で読書を楽しむことを励行する取り組みを行っている学校があります。



住宅街に敷設された道路外側線

観光資源の有効利用 遊客増加の取り組み

熊坂 崇徳議員

問 現在ある観光地をもっと有効利用して観光客を増やしていければと考えていますが、観光地への取り組みについて伺います。

情報の積極的発信 ガイドマップを作成

町長 町ホームページを活用した観光情報の積極的な発信や、県央相模川サミットにおいて各市町村の観光資源をPRするためのガイドマップを共同で作成しているところであり、さらなる観光客の誘致に努めています。

「あいちゃん」 キャラクターの活用方法

問 愛川町観光キャラクター「あいちゃん」のPRがもっと必要だと考えますが、これまでの観光以外に「あいちゃん」を使用する考

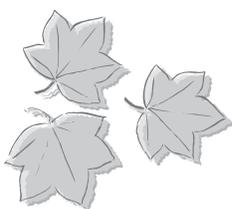
積極的なPR 広く一般に使用

町長 「あいちゃん」は町の広報誌やホームページなどで町内外に向けて積極的なPRを行っています。



糸の里文化祭でお披露目の「あいちゃん」

たところでは、また、「あいちゃん」の使用については、特に観光に限らず町の様々な催しなどで、広く一般に使用していただくようPRに努めています。



教育長 各学校では、これまででの指導実績、活動する場所の広さと生徒数の関係のほか、用具に係る費用や収納場所といった様々な側面から、柔道、相撲の3種目の中から柔道に決定したものです。

過去の指導実績 様々な側面から決定

問 学習指導要領改訂に伴い、中学校に武道教育が導入されることになりました。本町の特徴としての剣道の採用は検討されたのか伺います。

中学校の武道科目 剣道採用の検討



佐藤 茂議員

「愛川町観光振興計画」 再評価の考え

問 昭和57年度に策定された愛川町観光振興計画を再発掘し、現状に合わせて再評価をすることを考えて伺います。

構想は実現と認識 5次総合計画を推進

町長 振興計画のための整備構想として、本計画に示されている宮ヶ瀬ダム展望公園や運動公園施設等については、ダム直下に県立あいかわ公園が整備されるとともに、塩



宮ヶ瀬ダム観光放流

川滝周辺エリアに位置する田代地区に田代運動公園が整備された現状などから、本計画での構想は実現しているものと認識し、一連の事業が終了したものと考えています。今後の観光施策の展開にあたっては、平成23年度からスタートした第5次愛川町総合計画に掲げる観光振興方策に基づいた取り組みを積極的に推進していきます。他の質問事項なし

会派代表総括質疑

ここが聞きたい！そこが知りたい！

愛政クラブ

(小倉議員)

小倉議員 平成23年度決算における町税収入未済額及び欠損額の評価について

山田町長 平成23年度の町税収入未済額は、前年度比で1千116万8千577円の減で、前年度に引き続き削減を図ることができたところです。

不納欠損額については前年度比で23万7千905円の増ですが、所在不明や死亡などの理由により、滞納処分ができずに5年の時効が到来したことなどにより、税法上やむを得ず不納欠損処分をしたものです。

今後とも新たな滞納者を増やさないことに重点を置き、早期滞納整理を基本とするともに、納税に誠意のない滞納者に対しては差押え等の滞納処分を執行することにより、収入未済額と不納欠損額の削減に努めていきます。

小倉議員 3・11を受けた節電対策に係る評価について

山田町長 節電対策基本方針を設定し、最大需要電力の抑制や使用電力量の削減に努めました。

その結果、23年度における町公施設の電気料金については、役場庁舎では前年度比で232万6千円の削減、また、役場庁舎を除いた37の町公共施設全体では前年度比で639万2千円の削減となったものです。

他の主な質疑事項①国保税の未済額、欠損額の評価②介護保険料の未済額、欠損額の評価③下水道使用料の未済額、欠損額の評価④各預託事業の評価



役場で使用している電力需要監視装置

あいかわクラブ

(渡辺 議員)

渡辺議員Ⅱ町税の平成23年度予算現額と収入済額の差について

山田町長Ⅱ町税の予算現額と収入済額との差額1億2千748万5千円の増についてですが、最も差額の大きいものは法人町民税で、一部企業の業績回復などから増収を見込み、本年3月補正において3億7千251万1千円を増額し、最終予算額を9億1千951万1千円としたところですがさらに上回る10億1千727万円の収入があったことによるものです。

渡辺議員Ⅱ各科目の平成23年度予算現額と支出済額の差について

山田町長Ⅱ歳出予算の不用額については、当初予算編成時に年間の収支見通しを立て、通年予算を編成していますが、状況の変化などにより、当初予算に執行残が生じる場合もありますので、12月



菅原小学校耐震補強工事現場

あるいは3月補正で減額措置をし、多額の不用額が生じないよう心がけているところですが、

しかしながら、年度末にならないと経費が確定しない事業もあることや予測しがたい事情や突発的、緊急的な経費が発生する場合もあることから予算執行残を年度末まで留保することにより、ある程度の不用額が生じてしまうことについては、ご理解をいただきたいと思えます。

他の主な質疑事項①平成23年度決算における第5次総合計画の取り組みの総括について

あすか

(小島 議員)

小島議員Ⅱ平成23年度における監査委員費の成果と課題について

監査委員事務局Ⅱ事務事業の執行における処理規定や書類の記載事項などについて、若干の不備は見受けられるものの、本町における財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理などについては、概ね適正かつ効率的に執行されていることを認めているところです。

また、町側としても、監査の結果を真摯に受けとめ、事務事業の見直しの徹底や事務の合理化などに尽力しているところであり、監査結果に関する課題については特にならぬものと認識しています。

小島議員Ⅱ教育委員の平成23年度における成果、課題について

熊坂教育長Ⅱ学校訪問や教育懇話会などを通して現場の教職員と直接対話し、各学校の現状や課題

を把握できたことや児童・生徒の学習への取り組み姿勢などを確認し、教育委員の思いや感想などを伝えることができたこととは、教育委員と学校現場との連携を深める上で大変効果があったものと考えています。

教育委員の課題については、委員の役割や活動状況などが認知されておらず、住民から存在がわかりにくいなどの指摘もあることから、今年度から取り組んでいる教育委員会での点検評価などを公表し、教育委員の活動などの周知に努めていきたいと思います。

他の主な質疑事項①厚木愛甲環境施設組合の23年度における成果と課題

派遣職員の状況②繊維産業会の23年度における成果と課題③宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の派遣職員による成果と課題、主な取り組み

日本共産党

(小林 議員)

小林議員Ⅱ財政調整基金の今後の見通しについて

山田町長Ⅱ剰余金の積み立てについては、景気の動向に左右されるなど、見込みが難しく、今後の財政調整基金の残高の推計は一概に言えませんが、こうした社会経済情勢の中、そして先の見えない不透明なこの時代において、ある程度の基金を積み立てておくことは必要であると認識しているところです。

今後とも、毎年度策定する財政計画を基本として、財政の健全性に配慮

しながら、財政調整基金の積み立てと適正な活用に心がけていきたいと考えています。

小林議員Ⅱ片舎周辺公共施設整備基金の今後の見通しについて

山田町長Ⅱ平成24、25年度の継続費を設定した新保健センター建設事業の24年度当初予算では、片舎周辺公共施設整備基金から6千538万円余りを活用するため、平成24年度末残高は、2億5千500万円余りとなりま

す。

また、25年度では1億586万8千円を基金から取り崩す予定であるため、25年度末残高は1億4千900万円余りとなる見込みです。

他の主な質疑事項①町税について②住民参加と情報共有に係る成果と今後の課題について③お茶特産化に向けて町の基本的な助成の考えについて



新保健センター建設工事現場

公明党

(井出 議員)

井出議員⇨経常収支比率が昨年より1・6%減となっている理由について
山田町長⇨経常収支比率は人件費や扶助費など経常的に支出する経費に町税などの一般財源収入がどの程度充当されているかを示すもので、地方公共団体の財政構造の弾力性を見る指標として用いられ、この数値が低いほど弾力性があると判断されるものです。

経常収支比率が1・6%減となった理由ですが障害者自立支援法関連事業費の増などにより扶助費が増額となったものの一部大手企業の業績回復などから法人町民税が大幅な増収となるなど、経常経費の増額を上回る経常一般財源の増収があったことによるものです。
井出議員⇨子ども手当システム改修事業の現状と今後について
山田町長⇨6月期の定期

支払い分及び毎月の随時支払い分における支給作業、さらには申請関係や現況届、処理関係など、いずれも順調に稼働しているところではあります。

今後は、所得制限導入後、最初の支給となる10月期の定期支払いや旧制度の子ども手当未払い分への対応などが発生しますが、遺漏が生じないよう引き続き児童手当システムの管理、運用に万全を期していきます。

他の主な質疑事項①町税について②自主財源について③財政力指数について④国保税の不納欠損と収入未済額について



高峰保育園外壁塗装工事現地調査

支えあつ街・みんなの会 (熊坂 崇徳 議員)

熊坂崇徳議員⇨災害復旧費が前年より大幅に増加している要因について
山田町長⇨平成22年度は

山田町長⇨平成22年度は風雨による災害復旧工事の実績はなく、雪による除雪作業を1回実施しただけでしたが、平成23年度は台風12号及び15号により崩落した町道4路線の道路路肩の災害復旧工事を実施したこと、また除雪作業を4回実施したことから、前年度に比べ624万2千円の増となったものです。

熊坂崇徳議員⇨国民健康保険税の徴収業務の成果について
山田町長⇨滞納整理強化

月間の設定や月末の土日に休日納税相談窓口を開設するなどして、収入未済額の縮減に取り組んできたところではあります。

また、民間委託による徴収専門指導員も活用しながら、高額滞納者を中心に徹底した滞納整理を



雨水幹線整備工事現地調査

熊坂崇徳議員⇨国民健康保険税の徴収業務の成果について
山田町長⇨滞納整理強化月間の設定や月末の土日に休日納税相談窓口を開設するなどして、収入未済額の縮減に取り組んできたところではあります。

今後、消費者金融業者に対する過払い金差し押えはもとより、不動産公売の実施など、厳しく滞納処分を行った結果、収入未済額は前年比で約1千463万円を縮減したところではあります。
今後、税負担の公平・公正を期すとともに、国保制度の安定的な制度運営に資するため、引き続きあらゆる手段を講じて国保税の収納率向上に取り組んでいきます。
他の主な質疑事項①財政状況の推移②固定資産税について③国有資産等所在市町村交付金について④社会福祉費について⑤地方交付税について

議会審議状況をライブ・録画中継

町議会では、町民参加を基本とする開かれた議

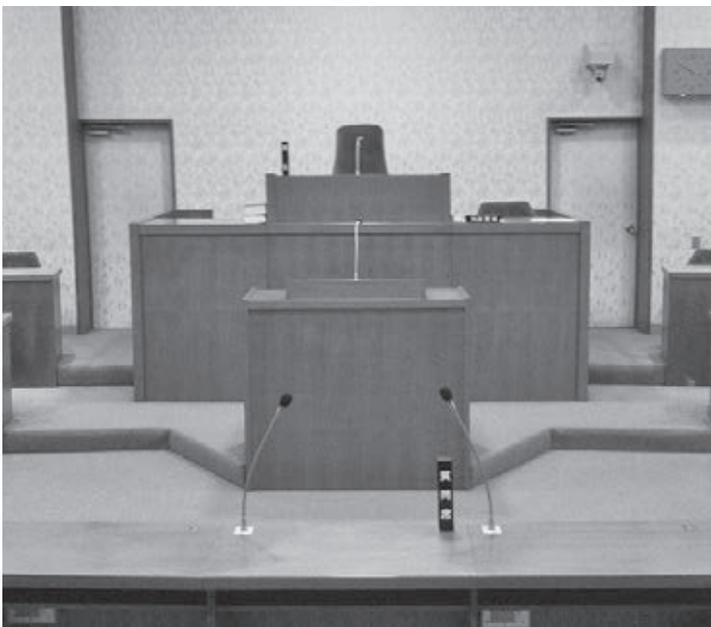
会を実現するため、インターネットによる議会本

会を中継するため、インターネットによる議会本

会を中継するため、インターネットによる議会本

中継を行っています。視聴にあたっては、「愛

川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目を



【ホームページアドレス】
<http://www.town.aikawa-kanagawa.jp/assembly/index.html>

討

論

賛成

愛政クラブ

佐藤 茂 議員

性質別決算額で見ますと、まず扶助費が前年度より6・3%増となっておりますが、人件費、物件費などの消費的経費を抑え、また若干ながらも義務的経費である公債費も抑え、普通建設事業費では幣山下平線の大工事が一段落したとはいえ、投資的経費を減らし、歳出合計120億278万円におさめた経緯は、大変評価させていただきます。また、年々増加する扶助費であります。受給者負担の考えや、個人責任などの問題も含め、議会の中でもさまざまな議論をしていく必要性があると感じています。

ここまでの各事業が町長をはじめ、職員各位の努力により、安定的に執行できましたことを、改めて感謝申し上げます。

賛成

あいかわクラブ

渡辺 基 議員

歳入では町税全体で、前年度に比べ、3億7千66万円の大増収となりました。特に法人町民税が4億2千24万円増加していますが、個人町民税や固定資産税などは、減収となっております。依然として厳しい財政状況が続いています。今後とも町税のみならず、受益者負担の原則に基づき使用料や手数料などの自主財源を含め、新たな財源確保に十分配慮されるようお願いします。

歳出全体では、少子高齢化、安全安心のまちづくり、教育の振興など、本町を取り巻く社会経済情勢に柔軟に対応し、住みよいまちづくりを進めるため、計画された各種事務事業が着実に執行されたことに対し、評価いたします。

賛成

あすか

山中正樹 議員



カラー舗装工事現地調査(半原小周辺)

総括的に見ると、総務費は3億4千400万円余りの増、民生費が1億7千900万円余りの増、土木費が3億6千600万円余りの減です。総務費に関しては、5億2千900万円余りの財政調整基金への積立が大きく影響しており、今後への備えとして理解でき、民生費の増加は、福祉・医療に配慮した町民生活優先の方針に沿った重点配

賛成

日本共産党

小林敬子 議員

分をされたもので、妥当と判断できます。平成23年度の当初予算では健康・福祉・医療に配慮した町民生活優先の予算という方針が打ち出され、決算の状況は、この方針に沿った行財政運営を行ったものと一定レベル評価できるものであり、認定に値するものであると考えます。

一般会計を中心に若干の意見、要望を交え賛成討論を行います。

総務費関係では、少子高齢化社会への対応など特に福祉部門への専門性を有した正規職員の増員配置を要請します。

高齢者福祉では、なかなか手形補助事業は高齢者の外出機会の拡大、通院や買い物などは健康寿命を増やすことにつながります。これこそ、高

賛成

公明党

佐藤りえ 議員



障害者グループホーム等設置事業現地調査

齢者を大事にしている証でもありますので、今後でも継続していただきたい。また、母子保健事業では、不妊治療費助成事業が実施され、13件の助成が行われ、成果を上げています。今後とも、少子化対策として不育症治療への早期助成を強く要請いたします。

平成23年度の財政力指数は、前年度と比較すると0・025ポイント下がりがり0・987になって

いますが、公債費負担比率を見ますと、前年度より0・1ポイント下がり、6・9%となっており、財政運営の健全性を保つ努力が伺えます。

歳出では、平成23年度予算編成は健康、福祉医療に配慮した町民生活優先の予算として事業が行われており、当初計画された諸施策が着実に実行されましたことを認めるものであります。

厳しい財政状況の中、内部努力に努め、今回の行政推進を維持できましたことを評価するとともに、町長をはじめ、担当

職員の努力に感謝し、賛成討論といたします。

賛成

支えあう街・みんなの会
木下眞樹子 議員

性質別決算の消費的経費の中で、人件費、物件費、維持補修費は減少傾向にあり評価しますが、扶助費、補助費等は増加



道路改良工事現地調査(中津地内)

傾向です。今後、大きな財政圧迫要因となることへの懸念があります。

各扶助費などの見直しなども必要かと思われるので、検討されるよう要望します。

また、投資的経費は大幅な減少傾向であります。景気対策という観点からも好ましいと考えますので、厳しい財政状況ではあります。ご配慮願えればと思います。

関係職員皆様の日ごろの努力と熱意に敬意を表し、支えあう街・みんなの会を代表いたしまして賛成討論といたします。

各常任委員会 先進地行政視察を実施

住民ニーズが多様化する中、住民の代表である

議員の果たす役割はますます重要となっております。

また、議会運営の最高規範である「町議会基本条例」では、「議員は、日常の調査及び研修活動を通じて自ら資質の向上に努め、町民の負託にこたえなければならない。」と規定しています。

こうしたことから、町議会では、高度な議会審議に資することを目的として、先進自治体の行政事例の調査、情報交換を隔年で実施しています。

本号では、各常任委員会が10月に実施した行政視察の概要を次のとおり報告します。

なお、視察の詳しい内容については、次号の議会だよりに掲載する予定です。

総務建設常任委員会

視察先及び内容

10月17日(水)

長野県下伊那郡豊丘村

①住宅リフォーム制度

について

②役場庁舎建設事業に

ついて

10月18日(木)

長野県飯田市

①環境モデル都市の実

現に向けた取り組み

について

②議会における事務事

業評価及び議会報告

会について

教育民生常任委員会

視察先及び内容

10月22日(月)

愛知県大山市

①学びの学校づくりに

ついて

10月23日(火)

愛知県日進市

①障害者総合支援につ

いて

写真募集

愛川町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。

データの場合は、500万画素以上でjpeg形式・プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品の名前、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。

(随時受付)

【電子メールアドレス】
gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

【郵便送付先住所】
〒243-0392

愛川町角田251-1

愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

・応募作品は原則として返却しません。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。

・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。掲載を希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

※お詫びと訂正

前号13ページに掲載した写真は本文の内容とは関係がありません。お詫びして訂正いたします。

町民の声

「議員活動に期待」



諏訪部 勲 さん

(角田在住)

私は町に16人おられる議員の方々の活躍を大いに期待しています。なぜなら、経験と実績に基づいて町のリーダーとして選ばれてきた代表者であるからです。

私の期待は、住民が求める「活力と魅力あるまちづくり」のために、議会、区長会、商工会、住民が枠を超えて話し合い協力し合ってまちづくりに取り組める場をつくる

ことです。そして話し合いの結果まとまったことを行動に移すことです。

そのためには、会派の枠を越え、住民のためにはどう結論を導くべきかを優先させて意見をとりまとめたいと思います。

また議会質問も、町の考えをお伺いするだけでなく、まとめた住民の意向を提示し、その実現を町に迫るようにしていただきたい。町役場の都合優

先でなく、町民の意向を重視する考え方です。

昨年、中津川流域で活動する7つのボランティア団体が「まちづくりネットワーク中津川」を結成しました。関心ある議員の方々と懇談の場を持ちたいと希望しています。

町の議会関係費は平成22年度で約1・8億円にもなります。町民はそれに見合う議員の方々の働きに期待しています。

編集後記

木々が色つきはじめめっきり涼しい季節となりました。また、前号に続き表紙を飾る写真を応募くださり、大変うれしく思います。今後も積極的にお寄せください。

次回定例会

12月定例会の予定は下表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、11月22日(木)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成24年 第4回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
12	3	月	本会議 (提出議案の説明)
	4	火	本会議 (一般質問)
	5	水	本会議 (一般質問)
	7	金	総務建設常任委員会
	10	月	教育民生常任委員会
	14	金	本会議 (総括質疑・討論・採決)
	17	月	予備日

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができません。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

施設設置録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」の協力により視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

- 今後開かれた議会への取り組みを分かり易くお知らせします。
- 議会だより編集委員会
- 委員長 小林 敬子
 - 副委員長 渡辺 基
 - 委員 玉利 優
 - 委員 佐藤 りえ
 - 委員 熊坂 崇徳
 - 委員 佐藤 茂
 - 委員 馬場 司
 - 委員 鳥羽 清